

さまのすけさま

作詞/横山貴子 鈴木大司 作曲/鈴木大司

笠岩桜が咲き誇る 舟ヶ谷城に春が来た
三千石のお殿様 新野の里の守り神
民を愛し慈しむ その武士の名は
あゝその人の名は 新野左馬助さま



戦国乱世にありながら 和を持ち郷土を愛しむ
水を湛えた早苗田に 源氏螢が舞う月夜
心安らぐひとときに 村の平和を祈ってる
あゝこころ優しき 新野左馬助さま

忘れ形見の幼子を 身命賭して守り抜く
転がる井伊の行く末は この子の未来の先にある
強く立派に育つ虎松 のちの徳川四天王
あゝ情けの武将 新野左馬助さま



立派に武人を貫いて 曳馬のいくさで打ち死にし
左馬武杜に祀られて 新野の民を護ってる
人としての生き方を 忠義を貫き示す人
あゝ武士(もののふ)の鑑 新野左馬助さま